

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 左脚領域ペーシング施行時の心電図、画像所見ならびに臨床経過の調査

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 宮島佳祐 (循環器科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2023年12月31日

目的：左脚領域ペーシングが右室中隔ペーシングと比較し、左室内非同期を軽減するのかが調査する。

方法：単施設で行う後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2020年3月1日から2021年6月30日の間に当院でペースメーカー留置を行われた徐脈性不整脈症例。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：以下の臨床情報を診療録から取得する。

<ペースメーカー留置時>

①臨床所見 (年齢、性別、身長、体重、血圧、心拍数、原因となる心疾患、生活習慣病の合併、心不全の重症度)

②血液所見 (肝機能、腎機能、血算、コレステロール値、HbA1c、BNP)

<ペースメーカー留置時から術後3ヵ月まで>

③心電図所見 (心拍数 PQ時間 QRS時間 QT時間ST-T変化 異常Q波)

④画像所見 (術中透視画像、心臓超音波検査、心筋シンチグラフィ、心臓CT)

⑤ペースメーカーデータ (波高、閾値、インピーダンス)

⑥術後合併症の有無

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

宮島佳祐・循環器科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971